

檜の会

平成十九年
卯月
第二十二号

NPO法人「檜の会」事務局
京・東山やすい松小路
TEL/FAX 〇七五-五二五-〇八〇三

皆様のご意見、ご投稿など
お待ちしております。
E-mail BJS03240@nifty.com

企画・編集／檜の会会報編集室
発行／季刊（一・四・七・十月）
http://village.infoweb.ne.jp/hinoki/

奈良古都散策「万葉ロマンを求めて」 近藤 正明

三月二十四日(土)春の事業として、帝塚山大学人文科学部教授の脇谷英勝先生のご案内で参加者十七名(内名古屋から四名、東京から一名)の方々が近鉄奈良駅噴水前に午前十時三〇分に集合致しました。揃ったところで脇谷先生より掲敬示板の地図を見ながら今日一日の行程説明がなされた。

一行は、一路奈良公園の
中を通り、興福寺、新薬師
寺、白毫寺へと向かった。

当日は曇天の後小雨となり
ましたが、参加者一同元氣
に奈良公園を歩き、見学致
し、最初は興福寺から始ま
り、先生の説明の中で、猿
沢の池の由来でカメと鯉と
の伝説や、宝蔵院覚禪房法



胤栄の興味ある話や摩利支天石、井戸杵など、また、不動明王、南円堂(西国三十三箇所第九番礼所)をお参佛、見上げる興福寺五重の塔は、法隆寺に次ぐ大和を代表する塔であるとのことでした。また大湯屋(今のサウナ式)の建造物は、位の高い僧侶達の癒しの場所で、古代も現代も湯浴は変わらないようです。小雨が降り出し、鷺池の中に橋渡ししの六角の浮見堂でしばらく休憩しました。次の新薬師寺向かう途中に頭塔と呼ばれる首塔があり、首だけお祀りしてあり、建物は古代エジプトのピラミッドを想わせるお墓で供養をして祈られるとのことでした。昼食は、塔の近くの蕎麦屋さんで美味しい蕎麦を頂き、しばし休憩す

ることにになりました。その後新薬師寺に向い歩きますが、途中比賣神社の前を通り神社のお話を先生から詳しく説明があり、祭神は、十市皇女(額田王の娘)でお話の後、新薬師寺の中を拝観させて頂き、新薬師寺は聖武天皇眼病平癒祈願のため、七四七年(天平十九年)勅願により光明皇后によって建立されました。また、新薬師寺の「新」は、新しいではなく「あらたかな」という意味だそうです。春夏秋冬、桜よく、萩よくと言われています。新薬師寺を後に白毫寺に向う途中河田先生(当会顧問)のマンションの前を通り過ぎました。

白毫寺は、五色の椿や萩で有名なお寺で「万葉集」にも歌われる高円山の西麓に建つこの寺の草創は、天智天皇の皇子である志貴親王の山荘跡を寺としたものと伝えられている。宝蔵には、重要文化財の仏像が收藏されているが、中でも人の生前の罪を調べ、罰を加える神である閻魔王坐像(地獄の長官)・太山王坐像・司命像・司録像の諸像には圧倒されました。

この度の奈良散策のコースは、脇谷先生のこと細やかなご説明の案内で、大変楽しく一同感銘を受けた一日でありました。心より感謝申し上げます。帰宅途中、志賀直哉宅や奈良公園の向かいにあります氷室神社に参拝し、見事に咲いた枝垂桜の前に記念撮影。奈良駅にて安田理事長が挨拶いたし、脇谷先生にお礼を申し上げ、午後四時三〇分頃現地解散となりました。(当会副理事長)

「豆知識」

「桜はもと櫻に作り、嬰声。」

わが国固有の花木で、花の代表とされ「花ぐわし櫻」という。「さくら」は、「咲く」に「ら」をそえたもの。「万葉」に山や山峡の桜を歌うものが、三十七首あり、山桜は古くから愛賞されていたようである。しかし、歌われている数からいえば、桜は秋萩や梅の花に遠く及ばない。在来のもものでは、萩が最も多く、梅は外来種で、当時の知識社会に特に喜ばれたものである。(字訓・白川静著・平凡社刊より)

” サクラ・さくら・桜…… ” 安田 紀美子

今年の異常気象にも必死に耐えて、四方の山々が桜色に染まっているのが、とても心穏やかな風情です。

円山公園の枝垂桜は、美しい姿で特に有名です。回りで焚くかがり火は、まるで舞台の背景のようでした。

子供の頃から満開になる日を心待ちにしたものです。京都では、季節の挨拶代わりになるくらいです。「円山の桜、もう咲いてますやろうかなあ」と。

高台寺途から、円山に差し掛かりますと大勢の人で賑わっています。枝垂桜がやっと七分咲きです。観賞するべく近くまで行き啞然としてしまいました。

以前の美しい姿は無く、角度によってはV字のようになって、半分近くの枝振りが切られていました。何ともいえない気持ちで近くの茶店で一服。その主人が「昔からの桜を観てこられた方はさぞ残念でしょう。」と言われ、今一生懸命桜守の佐野さんが、遠くから桜を見て治療をされている事を聞き、ほっと致しました。

二代目は、まだ六十年も経っていないのに、なんとかもう一度元の美しい姿を見せて欲しいと願いました。原因は、いろいろですが、やはり地球温暖化や東山の水脈の関係が大きく影響していると云われています。

” さくら ” としても嬉しく思いましたのは、当会理事であり染色家の春日井路子さんの” さくら ” の作品が、首相官邸にかけられていて安倍総理の記者会見の時、必ず華やかな桜が写しだされて感動しました。
(当会理事長)



—お知らせ—

●檜の会主催

◇通常総会・懇親会

日時 五月十九日(土)午後二時～四時・四時半
ゲスト 村松 茂(当会会員)
会場 エルイン京都(八条口)

◇第十回檜の会「伝統芸能鑑賞会」(予告)

日時 平成十九年六月三日(日)午後一時～四時
会場 京都大学百周年時計台記念館(ホール)
演目 雅楽・狂言・日本舞踊・講演と対談(新撰組)
小学生による三味線と琴の演奏

◇ミホ・ミュージアム 開館十周年記念特別展

—中国 山東省の仏像展(飛鳥仏の面影)ご案内—

滋賀・甲賀市信楽町

インドに生まれた仏教は、シルクロードから長安、洛陽に伝わり、山東省には、三〇四世紀頃に伝えられた。本展は、山東省に仏教が伝来した五湖十六湖時代から、北魏、東魏、北齊、隋にいたる。

四世紀から七世紀初頭までの仏像七二点を一堂に会し、その変遷を概観できます。
(MIHOMUSEUM通信抄)

会期は、六月十日(日)まで 日本での初公開です。

※招待券を頂きましたので、ご希望の方は、当会事務所まで。

先着二〇名

—お断り—

※前号一面～二面の「百人一首の親子」の文中

一面十四行目「三代については、」の後に、「以前に述べたので省く。」を挿入。

二十三行目 署↓著 二面七行目 歌楽書↓歌字書 九行目 撰載集↓千載集

二十行目 隠岐↓讃岐 二十六行目 文学部↓人文科学部

※二面 豆知識十一行目 賢三郎↓督三郎にお詫びし、訂正いたします。